



# ネパール地震により被害に遭われた子どもたちに学びの場を 9月2日(水)仮設学校の建設支援金2,000万円を贈呈

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ(以下、当財団)は9月2日(水)、今年4月および5月にネパール連邦民主共和国(以下、ネパール)で発生した地震により被災された子どもたちの教育環境の再生を目指し、公益財団法人日本ユニセフ協会(以下、日本ユニセフ協会)に仮設学校の建設支援金2,000万円を贈呈します。

4月25日(土)および5月12日(火)にネパールにおいて発生した地震は現地に甚大な被害をもたらし、同国北部を中心に約30,000の教室が倒壊し、多くの子どもたちが勉強する場を失いました。

このような状況を受け、当財団は9月2日(水)、日本ユニセフ協会へ2,000万円を贈呈し、同協会からも同額を拠出いただき、ネパールでの仮設学校の建設支援にご活用いただきます。被災地域においては、一日も早い教育環境の再生を目指して、約50校の仮設学校の建設、教材や備品の供給、児童の心のケア等に関する教員への研修が行われます。

なお、当財団は日本ユニセフ協会とのパートナーシップのもと、ネパールにおいて2004年より57校の学校建設を支援し、これまでに約56,000人の子どもたちが新校舎で学んでいます。

ネパール地震発生後、当財団は4月30日(木)に緊急復興支援金として1,000万円を在日ネパール大使館に寄付しました。また、4月28日(火)から5月10日(日)の期間にイオングループ約9,600カ所で復興支援募金を実施し、5月19日(火)、募金額に同額を上乗せした1億874万8,194円を同大使館へ寄付しました。

ネパール地震により被災された皆さまが、一日も早く平常な生活を取り戻されることを 心よりお祈り申し上げます。

記

1. 日 時:9月2日(水)16時~17時

2. 場 所:公益財団法人日本ユニセフ協会

(〒108-8607 東京都港区高輪 4-6-12 ユニセフハウス)

3. 贈呈金額: 2,000万円

4. 寄付 先:公益財団法人日本ユニセフ協会

5. 出席者: 在日ネパール連邦民主共和国大使館特命全権大使

(予定) マダン・クマール・バッタライ 様

公益社団法人日本ネパール協会 理事 ジギャン・クマル・タパ 様

登山家 田部井 淳子 様

公益財団法人日本ユニセフ協会 専務理事 早水 研 様

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ理事長 横尾 博

## **ご参考** 公益財団法人イオンワンパーセントクラブの主な事業内容

#### ◆次代を担う青少年の健全な育成に資する事業

<イオン チアーズクラブ>

地域の小中学生の環境保全活動を支援。毎年夏に全国大会を開催。

<中学生環境作文コンクール>

環境問題に関する作文を募集し、優秀な作文提出者は生物多様性研修に参加。

<AEON eco-1グランプリ>

全国の高校 及び高校生のエコ活動を顕彰し、エコ活動の輪の広がりを支援。

<学校建設支援>

アセアン各国で子どもたちの教育環境の整備を支援。全国で実施した募金にほぼ同額を上乗せし、小学校校舎建設と附属設備の設置及び教員養成を支援。

<セーフウォーターキャンペーン>

学校建設を支援した地域で汚濁水を生活用水に使っている地域に、浄化した 給水施設を設置することで子どもたちを健康面と教育面から支援。

#### 【学校建設支援】







ミャンマー新校舎



新校舎に喜ぶ子どもたち

#### ◆諸外国との友好親善の促進に資する事業

<ティーンエイジ アンバサダー>

海外と日本の高校生が相互交流を通じ、互いの伝統文化への理解とグローバルな 視野を持つことを支援。

**<アジア ユースリーダーズ>** 

アジアの高校生・大学生が一堂に会し、開催地の社会問題への解決策を議論し政府 へ提案することで多様な価値観への理解を深めることを支援。

**<イオン スカラシップ>** 

アジア各国で学ぶ大学生へ奨学金を給付し、次代を担うリーダーの夢の実現を支援。

#### 【ティーンエイジ アンバサダー】



首相官邸訪問



中国での授業体験



ミャンマーで托鉢体験

#### ◆地域社会の持続的発展に資する事業

くふるさと未来支援>

日本各地に伝わる固有の伝統文化の継承と普及を支援。

<災害復興支援>

大規模自然災害に見舞われた地域と人々の復興と復旧を支援。

<公益法人への支援>

弊財団の設立主旨に見合う活動を行う公益法人を支援。

### 【ふるさと未来支援】



よさこい祭り



イオン ふるさと発見伝



イオン すくすくラボ